
東方神起のごっちゃごちゃな部屋

最強昌?

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方神起のごっちゃごちゃな部屋

【Nコード】

N2902P

【作者名】

最強昌？

【あらすじ】

チャンミンは、家に帰ってくると、ヒョンたちの襲撃にあう・・
それに耐えられるのか！チャンミン！

1話　末っ子の災難

ガチャ・・・「ただいま！」ドアを開けると広がる風景・・・
暖かい部屋・・・でもあるのだが、なんだこのごっちゃごちゃ・・・

「おーチャンミン！おかえり！」後ろから叩くうるさい男。

その名はジュンス。ジュンスは僕を見てこう言った。

「チャンミンこれ食べてみて！」僕はためらいもせずに食いついた・

・
口に広がる・・・「タバスコ」その瞬間薄れゆく意識の中、気がついた。

「これつくったの、ジェジュンだ・・・」そして、

「ジュンス、いつかやってやる・・・」

　　5分後

「ただいまーいやあ、今日は疲れたなあ・・・って！ええ！？」

チャンミンー！！起きろ！」

揺さぶられたことに気がついた・・・そして目を開けると、

目の前に、ユンホの顔・・・

「うわあー！！！」飛び起きた・・・

「何だよチャンミン！そこですーし目を開けたまま死んでるから、
びつくりしたよ・・・」

そして、いきなり前から走ってくる美しい物体・・・

「ユノー！！あいたかった！」

「僕もだよー！！」

抱きあう男二人。

気がついたら僕は、手を上げていた。そう、美しい物体にむけて・・・

2話 末っ子怒る (前書き)

気がついたら僕は、手を上げていた。そう、美しい物体にむけて・

2話 末っ子怒る

「ゴンッ!!!」

美しい物体は、僕を見てこう言った。

「チャンニーン!!!! いたいよ! あつは!」

それをみていたユチヨンは、

「おゝクリティカルヒット・・・ジェジュン！ドンマイ！」

しかし、僕にはまだやらないといけない人物がいる……

そう・・ジュンスだ・・

「ジェジュン！ジュンスの居場所は？」

「さあ？どこでしょう？（棒読み）」

プ
チ
ツ
・
・

「お・し・え・ろ」

「はい．．．すいません．．．チャンミン様。あちらでございます．．．」

ジェジュンが指差したのは、僕の部屋！！

さらに
プチッ
・
・

部屋に向かって僕は走った。

「ジュンズ……!!!!!!」

3話 〳 末っ子と次男 〳 (前書き)

部屋に向かって僕は走った。

「ジュ 〳 ンス 〳 !!!!!!!!!!!!!!!」

3話　末っ子と次男

ドアをあけると、そこには僕のベッドでねているジュンスが・

そして入ってきたことに気がついたのか、ジュンスが起きた。

僕は怒る心を必死で抑えながら言った。

「ジュンス、さっきの事覚えてる？・・・」

ジュンスは、とぼけた顔で言った。

「ん？僕がなんかした？」

プチッ・・・

「あゝ！しましたよ！え！？覚えてないだと？お？あやまれ！」

「あゝ！！！！すいませんちゃんミン様！！！！どうか命だけはおたすけを！！！」

後ろから僕を抑えるヒョンたち。

ユン「やめるよ・・・」

ジェ「そうだよ！！」

ユチヨ「いや、もつとやれ！」

ジュン「ユチヨン！たすけるよ・・・」

こうなりや僕はとめられないと思ったその時・・・

ジェ「チャンミン！ジュンス！やめないと・・・このデスソースくちにいれるよ！」

僕とジュンスは、いつしゅんで青ざめた・・・

そして、

ユン「東方神起ルールその1！けんかしたときは・・・はい！ユチヨン！」

ユチヨ「なんでしたっけ？」

どてっ・・・

ユン「2人で飯食いに行くんだよな！」

ジエ「いつてきなさい！」
僕とジュンスは、2人で、東京の街を歩いた。

4話　　末っ子とハンバーグ　（前書き）

僕とジュンスは、2人で、東京の街を歩いた。

4話　　末っ子とハンバーグ

「さむいね！チャンミン^^」

こいつはなんも気にしてないようだ・・

「ジュンス、さっきの事覚えてますか？」

「はい、すみませんチャンミン様・・あなたに激辛ピザを
食べさせました・・」

「では、僕に言う事は？」

「すみませんでした・・今日は全部おごらせていただきます・・」

僕は心の中で「ヤリ・・！」とおもった・・悪いが^^

「じゃ、その代わりジュンスが食べたいもの決めてください」

　　↓10秒後↓

「ハンバーグ！！！」

ブツ！！

「ぜほっ、ゴホッ、うう・・ゴホッ！」

「チャンミン！なにがおかしいんだよ・・！！」

「だって、ゴホッ！こど・・ゴホッ・・もみたいじゃん！」

「いいから！チャンミン！ついてくんの！いつもいってるところが
あるのっ！」

そして、僕は「ステーキのどん」にはいった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2902p/>

東方神起のごっちゃごちゃな部屋

2010年12月10日22時33分発行